

Educational goals & Policy / 教育目標・ポリシー



清泉大学 人間学部・人文社会科学部・看護学部

●建学の精神

「神のみ前に清く、正しく、愛深く」をモットーに、カトリック精神に基づいた教育を通して、深い知的、道徳的見識と教養を身につけ、社会に貢献し得る円満な人格と豊かな情操を備えた人間育成を目的としている。

- ▶ 教育研究上の目的
 - ▶ ディプロマポリシー
 - ▶ カリキュラムポリシー
-
- ▶ アドミッションポリシー

清泉大学 短期大学部

●建学の精神と教育研究上の目的

「神のみ前に清く、正しく、愛深く」をモットーに、カトリック精神に基づいた教育を通して、深い知的、道徳的見識と教養を身につけ、社会に貢献し得る円満な人格と豊かな情操を備えた人間育成を目的としている。

- ▶ 基本方針
 - ▶ 教育目標
 - ▶ ディプロマポリシー
-
- ▶ カリキュラムポリシー
 - ▶ アドミッションポリシー
 - ▶ アセスメントポリシー
-
- ▶ 学生支援の基本方針

教育研究上の目的

人間学部

本学の建学の精神である「キリスト教（カトリック）ヒューマニズム」に基づき、教養を重視した全人教育を通じて、幅広い教養とともに学際領域の学知・技能を教授し、コミュニケーションなどとも生き、常に自らを高め、共生のこころをもって、他者のために考え、行動し、地域と世界に貢献できる情操豊かな人材を育成することを目的とする。

●心理コミュニケーション学科

心理コミュニケーション学科は、コミュニケーションを共通項目に、心の働きを理解し、コミュニケーションを通した共生関係を積極的に形成し、地域や社会での諸問題を解決する能力を有する人材を育成することを目的とする。

人文社会科学部

人文社会科学部は、本学の目的、使命を果たすために、本学の建学の精神である「キリスト教（カトリック）ヒューマニズム」に基づき、教養を重視した全人教育と、未来予測が困難な現代社会に必要となる学際的な学びや社会科学に関する学びを人文科学領域の学知・技能と結び付けることで、課題解決に挑み、社会と地域に貢献できる人材を育成することを目的とする。

●情報コミュニケーション学科

情報コミュニケーション学科は、高度情報社会のなかで必要となるコミュニケーションスキルを有し、人文科学を基盤としてビジネス、グローバル、デジタルに関する知識を関連させながら学際的・総合的な学びや社会科に関する知識とのコミュニケーションを通じて課題解決に貢献できる人材を育成することを目的とする。

●文化藝術学科

文化藝術学科は、文化藝術に関する諸学の幅広く学際的な知識と自らが帰属する社会、地域、共同体の多様性・多元性の正しい理解に基づき、行動力をもって文化の諸活動を主体的にを行い、文化的創造に貢献し、文化の学びを課題解決につなげられる人材を育成することを目的とする。

看護学部

●看護学科

看護学部は、地域の健康ニーズに応え、本学の目的および使命を果たすために、建学の精神に基づき、「教養を重視した全人教育と看護学領域の専門職教育を統合し、地域社会の保健医療・看護におけるケアの質と安全を考究する体系的・継続的教育により豊かな教養と適切な判断力・適応力・倫理観を培った看護実践力を修め、学びの文化、ケアの文化、共生の文化の創生をおおして社会に貢献できる人材を育成する」（学則第4条）ことを目的とする。

ディプロマポリシー 卒業認定・学位授与の方針

人間学部

清泉女学院大学人間学部は、本学に所定の年限在籍し、以下のような知識、技能、資質を備えた学生に対して卒業を認め、学士（人間学）の学位を授与する。

1. 建学の精神である「キリスト教（カトリック）ヒューマニズム」を理解し、他者の立場を理解し、他者を尊重し、他者のために行動できる。
2. 論理的思考を通じて、批判的に物事を分析し、自ら問題を発見することができる。
3. 問題解決のため、計画を立案し、他者と協働し、実行することができる。
4. 異なる立場、意見を聞き、理解したうえで、自らの立場、意見を正確に伝え、調和ある人間関係をつくりだすことができる。
5. 各学科専門領域の学知・技能を体系的に習得し、高度な専門性と広い学識を身につけ、生涯を通じて学び続けることができる。

●心理コミュニケーション学科

心理コミュニケーション学科では、養成する人材の目的を踏まえ、学生に学位を授与するに当たり学生が修得しておくべき能力を含めた学位授与の方針を次のとおり定めることとする。

1. 地域や社会の問題に关心を持ち、課題解決に向けた批判的な分析と論理的な思考ができる能力を修得している。
2. 自己理解をもとに、コミュニケーションを通して、さまざまなバックグラウンドを持つ他者との共生関係を築くことができる能力を修得している。
3. コミュニティの中での課題解決に向けた計画を立案し、他者に働きかけながら協同して実行することができる能力を修得している。
4. 心理と英語コミュニケーションの各専門領域における体系的な学修のもと、高度な専門性と広い学識を修得している。

心理コースは、

- ・社会の事象を心理学の視点から考えることができる、幅広い心理学の知識を修得している。
 - ・統計的分析を行なうことができる、研究法と統計的分析の知識・実践能力を修得している。
 - ・社会の諸分野で応用し実践することができる、心理学の応用的知識・能力を修得している。
- 英語コミュニケーションコースは、
- ・実践的な英語スキルを修得している。
 - ・国際感覚を身につけ、深い異文化理解をもとにしたコミュニケーション能力を修得している。
 - ・教育理論と外国語授業法を身につけ、その英語教育能力の伸長をはかることができる能力を修得している。
 - ・身につけた英語スキルや国際感覚を社会のさまざまな場面で活用する能力を修得している。

人文社会科学部

1. 包括的問題解決力
問題発見力、論理的・批判的思考力を持ち、デジタル技術も駆使しながら社会的課題を解決していく力を備えている。

2. 専門性のある総合知
社会課題を解決するための幅広い教養や学際的な専門知識を有し、その知識やスキルを具体的な場面で展開できる能力を有している。

3. 適応力と行動力
多様性を尊重し、常に変化する社会に適応しながら、他者と協力してグローバルに、ローカルに積極的に行動する力を備えている。

●情報コミュニケーション学科

1. 情報スキルを駆使しながら課題解決をしていく力がある。物事を批判的にとらえ論理的に説明できる能力を有している。

2. IT、ビジネス、グローバルの分野での専門知識を有している。その専門知識を社会課題解決のために用いる能力を有している。

3. 自ら他者と関わりながら実践的な企画立案やアイデア提供ができる力、行動力を有している。

●文化藝術学科

1. 文化芸術を理解し、課題解決をしていく力がある。物事を批判的にとらえ論理的に説明できる能力を有している。

2. 文化、地域づくり、クリエイティブの分野での専門知識を有している。その専門知識を社会課題解決のために用いる能力を有している。

3. 自ら他者と関わりながら実践的な企画立案やアイデア提供ができる力、行動力を有している。

看護学部

●看護学科

1. 人間尊重の精神に基づく人間観や看護観を育てるとともに、看護の職業倫理に関する基礎的な知識を修得する科目を配置する。

2. 「共通教育科目」は、学生の全人的成長および大学での勉学・研究の基礎の構築を目的に、養成しようとする知識や能力を明確にしたうえで、目的を達成するために、「建学の理念」、「教養科目」、「学習基礎」、「外国语」、「学外活動・スポーツ」、「キャリア系科目」の科目群から構成する。

3. 「専門教育科目」では、基礎・基本を重視し、専門の骨格を正確に把握せるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次生のある教育課程の編成をしている。また、広い視野を身につけるため、他学科・他コースの専門科目の履修も可能とする。

4. 留学や学外研修、インターンシップ、ボランティア等、学外での体験・実践を通じて能動的、主体的に学ぶ機会を設け、カリキュラムと関連づける。

5. チーム医療の中での看護職と多職種連携の役割を理解し、リーダーシップを發揮して看護職の役割を果たす能力、態度を修得する科目を配置する。(リーダーシップ)

6. 人々の発達・健康・生活のニーズに応じた看護支援や根拠に基づくケアの質と安全を考慮した良質の看護実践ができる。(看護実践力)

7. 地域の健康ニーズを理解し、地域の人々の健康や福祉の充実と向上に貢献できる。(地域包括支援実践力)

8. 多文化理解と災害支援の重要性を理解し、国際・災害支援に貢献できる。(国際・災害支援実践力)

人文社会科学部

1. 論理的・批判的思考を育成するPBL型や探求型の科目および基本的なデジタル技術を習得できる科目を置き、包括的に社会課題を解決できる力を養成する。

2. 教育課程全体では、7つの力（問題発見力、論理的思考、他者尊重、コミュニケーション力、行動力、企画立案力、発信力）を身につけるために、地域やグローバルなフィールドでの共生の体験を重視し、実践的活動を取り入れた科目を配置する。

3. 「共通教育科目」は、学生の全般的成長および大学での勉学・研究の基礎の構築を目的に、養成しようとする知識や能力を明確にしたうえで、目的を達成するために、「建学の理念」、「教養科目」、「学習基礎」、「外国语」、「学外活動・スポーツ」、「キャリア系科目」の科目群から構成する。

4. 「専門教育科目」では、基礎・基本を重視し、専門の骨格を正確に把握せるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次生のある教育課程の編成をしている。また、広い視野を身につけるため、他学科・他コースの専門科目の履修も可能とする。

5. 留学や学外研修、インターンシップ、ボランティア等、学外での体験・実践を通じて能動的、主体的に学ぶ機会を設け、カリキュラムと関連づける。

6. チーム医療の中での看護職と多職種連携の役割を理解し、リーダーシップを発揮して看護職の役割を果たす能力、態度を修得する科目を配置する。(リーダーシップ)

7. 人々の発達・健康・生活のニーズに応じた看護支援や根拠に基づくケアの質と安全を考慮した良質の看護実践ができる。(看護実践力)

8. 地域の健康ニーズを理解し、地域の人々の健康や福祉の充実と向上に貢献できる。(地域包括支援実践力)

9. 多文化理解と災害支援の重要性を理解し、国際・災害支援に貢献できる。(国際・災害支援実践力)

看護学部

1. 本学の建学の精神に賛同し、社会の健康ニーズに貢献しようとする人。

2. 看護学部看護学科の教育目標に魅力を感じる。

3. 学びの文化・ケアの文化・共生の文化の創生の目標に向かって意欲のある人。

4. 「よく考える」ことを通じて、自分を成長させることに努力を惜しない人。

5. 高等学校までの履修内容のうち、看護学の基礎となる科目を身につけていた人。

6. 知識や情報をもとに、論理的に物事を説明できる人。

7. 他者と協力しながら、課題を達成する能力を身につけている人。

人文社会科学部

1. 社会的課題に興味を持ち、それに関わる課題を発見して解決策を積極的に考へていこうという意欲を持つ学生、及びそのための技術の習得に取り組む学生を求める。

2. 専門的・学術的に学ぶことへの熟練度、自分の専攻以外にも幅広く興味を有する学生を求める。

3. 自分が持つ知識やスキルを社会のために役立てようという意欲と、自ら積極的に行動できる学生を求める。

4. 心理コミュニケーションコースは、コミュニケーションを共通項目に心の働きを理解し、コミュニケーションを通した共生関係を積極的に形成し、地域や社会での諸問題を解決する能力を有する人材を育成する心理

5. 英語コミュニケーションコースは英語の高い運用能力を教育や社会場面で活かす方法を学ぶコースであり、以下の点において強い意欲をもつ学生を受け入れる。

- ①英語力を高める意欲のある人。

- ②将来、学校や企業で英語を使った仕事をしたい人。

- ③外国の文学や文化に興味のある人。

- ④短期海外研修や長期海外留学に参加したい人。

看護学部

1. 本学の建学の精神に賛同し、社会の健康ニーズに貢献しようとする人。

2. 看護学部看護学科の教育目標に魅力を感じる。

3. 学びの文化・ケアの文化・共生の文化の創生の目標に向かって意欲のある人。

4. 「よく考える」ことを通じて、自分を成長させることに努力を惜しない人。

5. 高等学校までの履修内容のうち、看護学の基礎となる科目を身につけていた人。

6. 知識や情報をもとに、論理的に物事を説明できる人。

7. 他者と協力しながら、課題を達成する能力を身につけている人。

人間学部

1. 知識・理解
高等学校の主要教科科目について、高等学校卒業程度の知識をもつ人。

2. 思考・判断・表現
物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる人。

3. 開心・意欲
人間に関わる諸分野に開心を持ち、専門的に研究したいという意欲をもつ人。また、その成果を、自身の人生や将来のキャリアに関連づけ、そして、他者のため、現代社会における実践のために活かしていく意欲をもつ人。

4. 心理コース
心理コースは、人の心の働きや社会との開心を中心に学ぶコースであり、以下の点において強い意欲をもつ学生を受け入れる。

- ①人の心や行動をもつ人。

- ②心の問題に対し他者に寄り添いながら支援する意欲をもつ人。

- ③心に関する知識を現代社会で実践的に活かそうとする人。

5. 心理コース
心理コミュニケーションコースは英語の高い運用能力を教育や社会場面で活かす方法を学ぶコースであり、以下の点において強い意欲をもつ学生を受け入れる。

- ①英語力を高める意欲のある人。

- ②将来、学校や企業で英語を使った仕事をしたい人。

- ③外国の文学や文化に興味のある人。

- ④短期海外研修や長期海外留学に参加したい人。

人文社会科学部

1. 社会的課題に興味を持ち、それに関わる課題を発見して解決策を積極的に考へていこうという意欲を持つ学生、及びそのための技術の習得に取り組む学生を求める。

2. 専門的・学術的に学ぶことへの熟練度、自分の専攻以外にも幅広く興味を有する学生を求める。

3. 自分が持つ知識やスキルを社会のために役立てようという意欲と、自ら積極的に行動できる学生を求める。

4. 心理コミュニケーションコースは、コミュニケーションを共通項目に心の働きを理解し、コミュニケーションを通した共生関係を積極的に形成し、地域や社会での諸問題を解決する能力を有する人材を育成する心理

5. 英語コミュニケーションコースは

